

第5 児童発達支援センター

盛岡ひまわり学園

1 概要

- (1) 児童福祉法に基づく設置目的を踏まえ、将来社会生活に適応し、自立するための諸能力の向上に向けた療育支援に努めた。
児童発達支援センターとして、保護者、地域社会及び関係機関との連携を図り、より良い児童の健全育成と地域福祉の振興に努めた。
- (2) 児童一人ひとりの個別支援計画の作成について、保護者面談はもとより、児童発達支援管理責任者、クラス職員のほか、園長、副園長、相談支援専門員、栄養士を加えた個別指導会議を開催し、計画作成、モニタリング評価を行うなど、多職種連携による療育支援の充実と保護者との信頼関係の構築を図りながら、安心して利用いただけるよう努めた。
- (3) 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、ひまわりまつり、プール教室、保育園交流会を開催している。入園式、ひまわりまつり、うんどう会、卒園式に関しては、参加人数の制限を設けることなく、コロナ禍前の開催状況に戻しながらを制限するなど感染対策にも配慮しながら行った。保護者と連携を図り児童の健康管理に十分注意し、職員に対しては、体調管理・衛生管理を徹底し引き続き予防に努めた。また、来園者に対しては、玄関でのアルコール消毒、入退館記録表への記入をお願いした。
- (4) 保育士等養成に係る実習生の受け入れについて、大学、専門学校等の養成機関と緊密に連携し、実習生の体調管理の徹底を図りながら、児童・保護者、実習生・養成機関、職員が安全で安心して実習できる環境を整えた。

2 短期経営計画に係る実績及び評価

取組み項目 1				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
災害時等の事業継続に関する具体的方針の不足	事業継続計画（BCP）の策定と活用	業務継続計画（BCP）の実践に基づいたマネジメントの実践	業務継続計画（BCP）の内容について職員間で共有	作成したBCPの内容について職員間での十分に共有する時間を取ることができなかった。
			評価・分析・検討・改善を継続	評価・分析までには至らなかった。

＜取組みに対する評価＞

- ・ 作成した事業継続計画（BCP）について、職員間で十分に共有する時間を取ることが出来なかった。
 今後は、早い時期での職員への説明を実施し、内容も確認しながら、実践に向けて取り組んでいく。

取組み項目 2				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
地域の福祉ニーズの把握	地域の福祉ニーズ、多様なニーズへの対応	地域の福祉ニーズの把握への貢献体制の整備	地域の福祉ニーズの把握のための情報収集を継続する	令和7年1月9日（木）には、大新小学校前九年子ども会との交流会を実施し、終了後にアンケート調査を行った。
			地域との連携を図り、ニーズに関する情報を分析・整備する	各種行事や第三者委員会の実施の際には、地域団体の役員が来園され、地域の情報の収集を行った。

〈取組みに対する評価〉

- ・ 児童民生委員等との繋がりを密に持つことが不十分だったため、今後は定期的な意見交換等を深めながら、ニーズの把握に努めていく。
- ・ 情報収集結果等をもとに評価・分析を行い、整備していきたい。

・ 取組み項目 3				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
適切な収益性の確保、中長期的な整備計画の不足	安定的な収益性確保に基づく計画的な施設・設備整備	児童発達支援事業の在り方と報酬改定による計画の見直し	施設整備計画の素案について検討	事業推進検討会は1回の開催となったが、新しい職員等含め、事業内容や経営、施設整備についても情報共有を行った。
			報酬改定について情報を収集し検討	担当のところで情報を収集していたが、検討までには至らなかった。
			機能強化事業について計画の整備	外部の関係団体からも情報を得ながら、必要な事業について収集を行った。

〈取組みに対する評価〉

- ・ 事業推進検討会内で、経営や事業内容の外、建物の設備などについても、職員間で確認を行った。
- ・ 機能強化事業については、外部関係団体からも情報を得ながら、必要な事業についてなどアドバイスをいただき、内容の検討を行った。

・ 取組み項目 4				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
業務の標準化と共有化	業務マニュアルに基づくOJTの定着・習慣化	業務マニュアルの評価・改善	業務マニュアルの作成・整備	マニュアル化する業務についての検討を行い、作成の準備を進めた。
			OJTの実施に向け、計画を作成	エルダー制度を継続して行っているが、育成計画の作成は至らなかった。

＜取組みに対する評価＞

- ・ エルダー制度は定着し、継続している。OJT研修や目標管理とも合わせながら進めていく方法を検討しているが。
- ・ 業務マニュアルに関しても、必要な業務や内容を再度検討しながら、担当者を中心に作成を進めている。

・ 取組み項目 5				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
法令遵守に係る標準化の不足	法令遵守マニュアルの整備と活用	法令遵守に係るチェック体制に基づいた実践	いるか教室と合同でチェック体制（いつ、誰が、何を、どのようにして確認するか）を整備する	いるか教室と合同での情報交換会の機会を設けることはできなかったが、事業所指定基準、報酬改定、加算の取得等法令遵守に係る情報交換についてはその都度行った。
			いるか教室と事業所指定基準、報酬改定、加算の取得等法令遵守に関わる情報交換会の実施	

＜取組みに対する評価＞

- ・ 日々、いるか教室と連携を図り、情報を共有することができているが、定期的な情報共有や勉強会の開催も進めていく。

・ 取組み項目 6				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
働きやすさ、ワークライフバランスの確保	働きがい・生きがいのある職場環境整備	定期的な業務分担の見直しの実施	クラス長会議にて業務改善案について検討	毎月行われているクラス長会議の中でクラス内や各種業務の現状と課題について意見交換を行っているが、改善に向けた検討には至らなかった。
			システムの導入により業務のスリム化を図る	ほのぼのシステムの機能を活用し、改善につなげている。

＜取組みに対する評価＞

- ・ ほのぼのシステムを導入し、全員が操作できるようになったことで、業務のスリム化に繋がっている。

・ 取組み項目 7				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
権利擁護と、虐待防止・個人情報保護法等への対応の明確化	権利擁護、虐待防止・個人情報保護法等への対応の明確化と意識向上	権利擁護、虐待防止等についての体制の実践	虐待防止指針・身体拘束指針に基づいて実施・検討	年度初めや職員会議、児童虐待防止週間の際に、職員間で確認すると共に、日頃の療育場面においても意識しながら行った。
			権利擁護・虐待防止への対応の明確化	
			施設内研修と訓練の実施	令和6年7月に虐待防止に関する園内研修を行った。また、5月30日開催の虐待防止権利擁護研修会及び、9月18～19日の虐待防止研修（応用編）に関する研修会へ参加した職員からの伝達講習（web）を受講した。

＜取組みに対する評価＞

- ・ 職員会議等で虐待にあたる行為や行動、言動等について職員に周知し、一人ひとりが考える機会を持つことができた。今後も継続していきたい。
- ・ 療育中の気になる言動等について、いつでも話し合える環境づくりに努めた。

・ 取組み項目 8				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
サービスの定期的な評価と改善の取組	組織的な評価、計画的な改善活動の継続	サービスの継続改善の評価、改善活動	利用者満足度調査の評価・課題の抽出	令和7年2月にガイドラインに基づく保護者評価を行った。また、9月と3月に苦情解決委員会を実施し、保護者からの意見や要望等について回答した。
			課題改善に向けて検討	ガイドラインに基づく保護者評価で出された課題について抽出したが、検討までには至っていない。
			検討した内容で実施	今後検討していく。

〈取組みに対する評価〉

- ・ ガイドラインに基づく保護者、職員評価の結果をもとに抽出した課題について検討するところまで至らなかったため、検討し実施に向けて取り組んでいきたい。

・ 取組み項目 9				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
ヒヤリハットに関する事例収集と分析	効果的なリスクマネジメント体制の整備	ケース検討会の持ち方、改善（仮）リスクマネジメント効果の検証とまとめ	ケース検討会のあり方について検討	日々の支援についてすぐにケース検討会を実施できるように、開催しやすい環境づくりを行い、開催した。 他クラス職員、相談支援専門員、給食担当職員も参加することで、より深い検討会となった。
			（仮）リスクマネジメント検討会の実施に向けて計画を立案	ほのぼのシステムの機能を活用しヒヤリハット報告を作成。マニュアル作成には至らなかったが、内容については職員間で共有し対策を講じるなど、再発防止につなげている。 統計・分析までは至らなかった。
			ほのぼのシステムを活用し統計・分析をもとに検証	

〈取組みに対する評価〉

- ・ ヒヤリハットのケースについては、ミーティングで職員間で共有しているが、検討したい時にすぐにケース検討会を開催し、様々な支援方法を見出す検討会ができた。
 今後は、ほのぼのシステムの機能を活用して科学的な統計や分析を行いながら、再発防止、事故防止につなげていきたい。

・ 取組み項目 10				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
感染症の対策、対応	組織的な感染症への対応	感染症発生マニュアルに基づいた訓練	いるか教室と対策・対応の共有・検討・職員への周知	いるか教室の担当者と共有し、その都度検討を進めると共に、職員間への周知に努めた。
			マニュアルに基づいた訓練の継続	令和6年6月13日に嘔吐処理の園内研修を実施し、実際の動き、手順を確認した。

〈取組みに対する評価〉

- ・ いるか教室とは常に情報を共有し、感染症に関する研修なども一緒に参加している。
マニュアルについては、発生状況や取り巻く環境の変化により、その都度見直しを行っていく。

・ 取組み項目 11				
現状課題	将来あるべき姿	達成するための方法	実行計画	実績
潜在利用者、関係機関への理解促進	広報活動の充実	広報活動と効果の検証	新しいパンフレットの作成	掲載内容の検討にとどまり、作成までに至らなかった。
			広報活動の内容についてリストアップ	どのように活動していくのかのビジョンと方法についての内容の確認にとどまり、活動は不十分であった。
			活動の項目ごとの担当者を明確化	

〈取組みに対する評価〉

- ・ 新しいパンフレットについては内容検討にとどまり、作成には至らなかった。今後早急に作成に向けて検討していく必要がある。併せて、広報活動の内容についてリストアップし、早急に準備を進めていきたい。

4 概要

(1) 職員の状況

(人)

職名	園長	副主幹兼副園長兼主任児童指導員	副園長兼主任児童指導員	主任児童指導員	主任保育士	主事兼児童指導員	児童指導員	栄養士兼調理員	運転技士兼用務員	親子通園児童指導員	相談支援専門員	相談支援員	児童指導員補助員兼事務員	非常勤嘱託医	計
人員	1	1	1	1	1	1	10	2	2	6	2	1	1	(4)	30 (4)

(2) 児童の状況

① ひまわり学園

ア 児童数

- ・ 定員 40名
- ・ 令和6年4月1日新入園児 7名（男6名 女1名）
- ・ 令和6年4月1日現在 36名（男28名 女8名）
- ・ 年度内入園 4名（男3名 女1名）
- ・ 年度内退園 1名（男0名 女1名）
- ・ 令和7年3月31日現在 38名（男31名 女7名）
- ・ 令和7年3月退, 卒園児 15名（男9名 女6名）
- ・ 利用延児童数 7, 725人（令和5年度7,435人／年）
- ・ 利用児童1日平均 32.9人／日（令和5年度31.6人／日）

イ 月別入・退園状況(各月末日現在)

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在籍数	男	28	28	29	29	30	30	30	30	31	31	31	31	358
	女	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	105
	計	36	37	38	38	39	39	39	39	40	40	39	39	463
入園	男	6	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	9
	女	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
退園	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	7

(人)

ウ 退園児童の進路

進路 男女	保育園	幼稚園	小学校	特別支援 学級	特別支援 学校	他事業所	転出	計
男	1	3	0	0	5	0	0	9
女	0	2	0	0	4	0	1	7
計	1	5	0	0	9	0	1	16

② 親子通園事業

ア 児童数

- ・ 令和6年4月1日現在 27名（男18名 女9名）
- ・ 年度内入園（4月7日以降） 28名（男21名 女7名）
- ・ 年度内退園児（3月退園児除く） 20名（男15名 女5名）
- ・ 令和7年3月31日現在 19名（男12名 女7名）
- ・ 令和7年3月退園児 16名（男12名 女4名）
- ・ 登園児総数 1,236人／年（令和5年度1,395人／年）
- ・ 1日平均登園児数
 - わらしっこ教室 4.8人
 - わらしっこ都南教室 3.6人
 - わらしっこ玉山教室 0人

イ 月別入・退園状況(各月末日現在) (人)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在籍数	男	19	18	19	22	24	22	20	19	19	20	22	12	236
	女	9	9	7	8	8	8	10	11	12	11	11	7	111
	計	28	27	26	30	32	30	30	30	31	31	33	19	347
入園	男	1	1	2	3	2	3	1	3	0	1	2	2	19
	女	0	0	0	1	0	1	2	2	1	0	0	0	7
退園	男	0	2	1	0	0	6	2	4	0	0	0	12	27
	女	0	0	2	0	0	1	0	1	0	1	0	4	9

ウ 退園後の進路 (人)

年齢 進路	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計
認定こども園	0	1	4	17	0	0	0	22
幼稚園	0	0	0	2	0	0	0	2
保育所	0	1	3	0	0	0	0	4
ひまわり学園	0	0	0	3	0	0	0	3
児童発達支援事業所	0	0	1	1	0	0	0	2
転出	0	1	1	1	0	0	0	3
計	0	3	9	24	0	0	0	36

5 事業実施の状況

- (1) 児童福祉法第43条に規定する児童発達支援センターとしての設置目的を踏まえ、将来、社会生活へ適応し自立できるよう、個々の児童の特性に応じて、基本的生活習慣、身辺処理能力、コミュニケーション能力等の向上に努めた。
- (2) 個別支援計画に係る個別面談を保護者参画のもと実施し、家庭、学園での状況等の情報を共有しながら個別支援計画を策定するとともに、児童の生活の基盤となる家庭生活への支援の充実と療育の充実を図った。。
- (3) 盛岡市からの受託事業の親子通園事業は、障害等により支援を必要とする乳幼児をその初期において保護者とともに療育指導し、保護者に対して支援を必要とすることについての正しい理解と家庭での指導の方法及び療育等についての相談や助言を行った。また、保護者支援として、保護者学習会年5回、保護者懇話会年1回、ふれあいペアレントプログラム年2回、リハビリ相談会年6回を実施し、保護者が自信をもって子育てに向き合えるよう支援の充実を図った。ひまわり学園内の「わらしっこ教室」と盛岡地域福祉センター内の「わらしっこ都南教室」の2教室で実施し、玉山教室は教室利用を必要とする児童がいなかったため開催しなかった。
- (4) 家族の就労支援及び障害を持つ児童を日常的に介護している家族の休息を図ることを目的として、平日の午後3時から午後7時までと土曜日の午前10時から午後3時まで日中一時支援事業を実施し、利用者サービスの充実を図った。
- (5) おもちゃ図書館事業は、心身に障害のある児童の健やかな成長を助長するため、おもちゃを備え、遊びの場の提供及び貸し出しを行う事業として、毎月第1・3土曜日に開館した。
- (6) 岩手県障がい者自立支援協議会、盛岡広域圏障がい者自立支援協議会、盛岡市自立支援協議会、岩手県知的障害者福祉協会、岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会中央ブロック、盛岡市教育支援委員会、盛岡市乳幼児総合診査運営委員会等に委員として参加し、岩手県、盛岡広域圏、盛岡市関係機関との連携を図りながら障がい児が直面する課題解決に向けて検討を行った。
- (7) 児童発達支援センターに求められている地域支援として保育所等訪問支援事業や相談支援事業に取り組んだ。保育所等訪問では、幼稚園に就園した児童への対応や就学に向けて取り組むことなど必要な支援や助言を行った。また、盛岡市立保育園5園の発達支援保育巡回指導に職員を派遣した。

(8) 行事

月	共通行事	学 園	親子通園
4	園内研修	入園式 内科健診	はじまりの会週間
5		こいのぼり会 個別面談	眼科健診 親子体操教室 ふれあいペアレントプログラム1回目① 保護者学習会①
6	園内研修	歯科健診 プール教室	親子体操教室 園外指導 リハビリ相談会 保護者学習会② ふれあいペアレントプログラム1回目②③
7	ひまわりまつり 園内研修	創立記念日 七夕会 津志田つばさ園交流会	プール教室 耳鼻科健診 ふれあいペアレントプログラム1回目④⑤
8	園内研修	夏季保護者会 学校見学	夏季居宅指導 保護者懇話会① ひまわり学園見学会① リハビリ相談会

9	うんどう会	プール教室 みたけ保育園交流会	保護者学習会③
10		内科健診 個別面談 プール教室 給食試食会 みたけ保育園交流会 参観週間	保護者学習会④ ふれあいペアレントプログラム2回目①
11	総合消防訓練 園内研修・視察研修	焼き芋会 合同作品展 親子体操教室 学校見学 園外指導 給食試食会	ふれあいペアレントプログラム2回目③④ リハビリ相談会 ひまわり学園見学会②
12		津志田つばさ園交流会 クリスマス会 冬季居宅指導	クリスマス会週間 リハビリ相談会 保護者学習会⑤ ふれあいペアレントプログラム2回目⑤
1	園内研修	もちつき会	リハビリ相談会
2		豆まき会 おたのしみ会	リハビリ相談会 運営委員会 保護者懇話会②
3		ひなまつり会 個別面談 卒園式	すだちの会週間

定例的行事

① 共通行事 避難訓練 毎月1回

② 学園 職員会議 毎月1回、指導会議 毎月1回、体重測定 毎月1回、身体測定 年2回
誕生会 毎月1回

③ 親子通園 職員会議 毎月1回、指導会議 毎月1回

誕生会及び年度途中のすだちの会は、対象児がいる月に各教室、各クラスで開催した。

季節の行事は、活動の中で季節を感じる遊びや製作活動をメインに行った。

(9) 日中一時支援事業実施状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	129	162	152	176	162	170	182	183	150	154	145	143	1,908 (1,471)

() 内は前年度数

(10) 保育所等訪問支援事業の状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
保育所訪問(回)	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	4 (0)

() 内は前年

(11) 発達支援保育に係る巡回指導（保育園及び巡回回数）

・くりやがわ保育園	3回	・見前保育園	4回
・太田保育園	3回	・乙部保育園	3回
・とりよう保育園	1回		

(12) 相談支援事業の状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談支援(件)	24	28	27	22	23	27	24	18	18	27	21	21	282 (269)

() 内は前年度数

(13) おもちゃ図書館利用状況

① 開館日数	21日	(0日)
② 利用者数	17人	(0人)
③ 貸出件数	1件	(0件)

※ () 内は前年度数

(14) 盛岡市委託事業 盛岡市子ども発達支援事業所『ひまわり』事業実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話 相談	3 (3)	4 (4)	3 (3)	4 (4)	2 (2)	2 (2)	4 (4)	4 (4)	3 (3)	4 (5)	2 (2)	3 (4)	38 (40)
面接 相談	1 (1)	0	0	0	1 (1)	1 (1)	2 (2)	5 (5)	1 (1)	1 (2)	3 (3)	0	15 (16)
巡回 訪問	3 (7)	15 (77)	17 (88)	20 (128)	15 (86)	17 (69)	19 (102)	16 (69)	17 (77)	17 (73)	16 (80)	8 (36)	180 (892)
計	7 (11)	19 (81)	20 (91)	24 (132)	18 (89)	20 (72)	25 (108)	25 (98)	21 (81)	22 (80)	21 (85)	11 (40)	233 (948)

単位：件 () 内は人数

6 その他

(1) 関係機関との連携

盛岡市母子健康課と親子教室、乳幼児総合診査事業への職員派遣や盛岡市教育委員会、盛岡市障がい福祉課、子育てあんしん課等との情報交換を中心として連携を深めた。

(2) 地域との交流

地区子供会(前九年三丁目子供会)と園児との交流会を開催し、クラスでの活動を通して交流を図った。新型コロナウイルス感染症防止のため、内輪での開催としていたひまわりまつり、うんどう会については、家族の参加制限をせずに開催した。またひまわりまつりには、卒園児の招待も行った。

(3) その他

地区子供会との除草奉仕活動は実施を見合わせたが、厨川小学校の子ども会で実施している資源回収(古紙を出し協力している～年2回)は、実施を再開した。